

## 凡 例

1. この年鑑は、東京都の人口、経済、社会および文化の全分野にわたり、重要かつ基本的な統計資料を総合的に集録したものである。なお、統計表には他の地域と区別する必要のない限り、東京都という名称を省いてある。
2. この年鑑は、昭和32年を主として集録し、他の年のものは、比較対照のため掲げてある。
3. 統計表は、特に頭注等にとわりのない限り、暦年間（1月から12月まで）、何年度とあるのは会計年度間（4月から翌年3月まで）の事実を示し、何年末、何月末あるいは何年何月何日とあるのは、その期日現在の事実を示す。
4. 統計表の一般的説明は頭注とし、表中説明を要する個々の事項は原則として脚注にした。また資料出所は脚注の一部として掲げてある。
5. この年鑑に集録した統計資料について、さらに詳細な数字が必要な場合、あるいは疑義のある場合には、各表の脚注として記してある資料作成機関、または都総務局統計部集査課資料係に照会されたい。
6. 統計表中の符号の用法は、次のとおりである。  
— — …………… 皆無、または該当数字なし。  
… …………… 資料なし  
0 …………… 0.5 未満  
なお、0.0のような場合は、上に準じて0.05 未満を示す。
7. 付録として、度量衡換算表を掲載し、計算その他の利用に便ならしめてある。また、東京都の地図および沿革を付して、地域範囲を明らかにし、統計表の理解上いささかなりとも資するよう努めた。